

最近のテロ関連情勢

- ◆ テロ対策調整官組織（NCTV）によると、オランダのテロ脅威度は「顕著（significant）」
* 5段階のうち上から3番目（テロ発生の可能性が考え得るレベル）。2019年より変更なし
- ◆ オランダでは近年テロ事件の発生はないが、国内外にテロの因子は存在しているほか、銃器・爆発物を用いた強盗等の暴力的な事件が多数発生しており、引き続き注意が必要



国内テロ情勢

イスラム過激派

- ✓ 国内ジハード主義者は約500人
- ✓ 当局は、ジハード運動を主要なテロ脅威と認識
- ✓ いわゆる「ローンウルフ」によるテロを警戒

右翼過激派

- ✓ 右翼テロ思想の支持者は、数百人程度と推定
- ✓ ネットで過激思想が蔓延
- ✓ 陰謀論信奉者も

反政府活動

- ✓ 政府の窒素対策に対する農業者の暴力的反対運動が発生
- ✓ 陰謀論信奉者も

テロ等重大事件

【オランダ】

- ◆ 2019年3月18日、ユトレヒトの路面電車内において銃撃事件が発生し、4人が死亡、5人が負傷した。被疑者は、トルコ出身の男で銃撃後に逃走したが、同日夜に逮捕された。

【周辺国】

- ◆ 2023年1月25日、北部キールからハンブルクへ向かう列車内において、男が乗客を刃物で襲撃し、2人が死亡、7人が負傷した。【ドイツ】
- ◆ 2022年12月23日、パリ中心部に所在するクルド人文化センターほか2カ所において、男が銃を発砲し、クルド人の男女3人が死亡、3人が負傷した。【フランス】
- ◆ 2022年11月10日、ブリュッセル中心部のブリュッセル北駅付近で、男がパトロール中の警察官をナイフで襲撃し、警察官1人が死亡、別の警察官1人が負傷した。【ベルギー】